

気候変動 ～気候変動に対応したまち～

現状

市施設から排出される温室効果ガス（二酸化炭素換算）

- COOL CHOICE 事業（エコスタイルいたみ等）、照明のLED化、低公害車の導入等の推進により減少傾向となっており前計画の目標は達成する見込み。

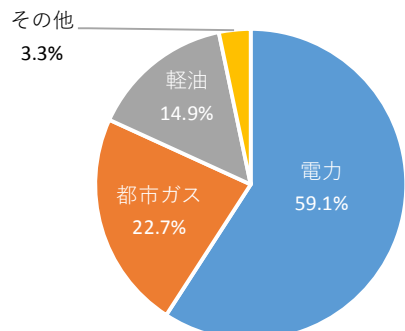
市施設から排出される温室効果ガス推移（二酸化炭素換算）

単位：t-CO<sub>2</sub>

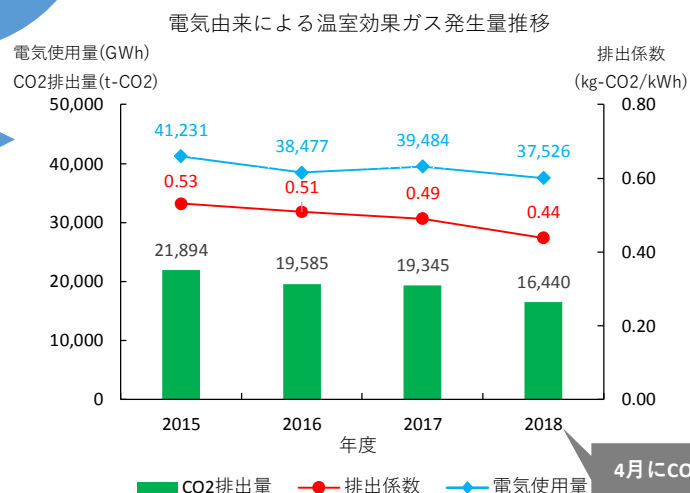
| 項目\年度 | 2015   | 2016   | 2017   | 2018   | 2019   | 2020   |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 目標    | -      | -      | 30,855 | 30,096 | 29,337 | 28,577 |
| 実績    | 31,350 | 29,889 | 30,580 | 27,798 | 集計中    |        |

※2017年度以降、算定方法が変更されているため、2015～2016年度については再算定を行いました。

2018年度 燃料別温室効果ガス発生割合（市施設）



- 燃料別に見ると、電気使用による排出量が多い。一方で、電気使用量、排出係数は共に減少傾向にあり、需要側と供給側の努力により温室効果ガス排出量は減少している。



市域から排出される温室効果ガス（二酸化炭素換算）

- 市施設同様、減少傾向となっており前計画の目標は達成する見込み。

市域から排出される温室効果ガス推移（二酸化炭素換算）

単位：t-CO<sub>2</sub>

| 項目\年度 | 2015    | 2016    | 2017    | 2018    | 2019    | 2020    |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 目標    | -       | 927,621 | 913,036 | 898,451 | 882,893 | 868,308 |
| 実績    | 864,014 | 863,899 | 824,749 | 729,384 | 集計中     |         |

- 部門別では、家庭部門は減少傾向にあり、産業部門も緩やかではあるが減少傾向にある。
- 国では、温室効果ガス排出量を2030年度までに2013年度比で26%削減することを目標としている。

課題と方向性

- 温室効果ガスの削減に向けた気候変動緩和策は引き続き推進する必要がある。

施策の方向性①  
気候変動への緩和策

方向性（行政として取り組む施策）

事業1

行政の率先行動の推進

事業2

市民・事業者への活動促進

事業3

市営バス・自転車利用の推進

- すでに生じている気候変動による被害を防止・軽減するため、気候変動適応策が必要である。

施策の方向性②  
気候変動への適応策

方向性（行政として取り組む施策）

事業1

異常気象等による浸水対策及びヒートアイランド対策

事業2

熱中症・感染予防対策に関する普及啓発

事業3

災害時におけるエネルギー確保の検討

具体的取り組み

施策の方向性① 気候変動への緩和策

|     | 行政の取り組み  | 市民に期待する取り組み  | 事業者期待する取り組み   |
|-----|--|--|---|
| 事業1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>「伊丹市地球温暖化対策推進実行計画」を推進します。</li> <li>公共施設における省エネルギー型機器への改修と導入を進めます。</li> <li>公用車（市バス含む）の低公害車・低燃料車への転換の普及・啓発を推進します。</li> <li>公共施設における再生可能エネルギー導入を推進します。</li> <li>公共施設のエネルギーの見える化及び管理手法を検討します。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>電気・ガス・灯油等のエネルギーの節約を心がけます。</li> <li>家電製品を購入する際は省エネルギー型製品を選択します。</li> <li>COOL CHOICE を意識した生活を行います。</li> <li>エコマーク等の環境ラベルのついた商品の利用に努めます。</li> <li>バスや電車等の公共交通機関や自転車を利用し、マイカーの利用を控えます。</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>電気・ガス・灯油等のエネルギーの節約を心がけます。</li> <li>省エネルギー型設備の導入に努めます。</li> <li>COOL CHOICE を意識した事業活動に取り組みます。</li> <li>工場・事業所の省エネ診断の実施を検討します。</li> <li>燃料電池、太陽光発電システム、コージェネレーションシステム等新エネルギーの導入を進めます。</li> </ul>   |
| 事業2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>COOL CHOICE 啓発等により、公共交通機関の利用・省エネルギー対策等を推進します。</li> <li>家庭向け電力について、環境に配慮した電力調達方法の情報提供を行います。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>車の運転の際はエコドライブを心がけます。</li> <li>車の購入の際は低公害車を選択するように努めます。</li> <li>宅配ボックスの利用等、宅配便の再配達を防ぎます。</li> <li>緑のカーテン等の設置を積極的に進めます。</li> <li>クールシェアを行います。</li> <li>CO<sub>2</sub> 排出係数の小さい電力会社との契約を検討します。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>通勤や移動にはバスや電車等の公共交通機関や自転車を利用し、車の利用を控えます。</li> <li>車の運転の際はエコドライブを心がけます。</li> <li>車の購入の際は低公害車を選択するように努めます。</li> <li>物流の効率化を図り、車両の走行量を抑制します。</li> <li>事業所への緑のカーテン設置や緑化を積極的に進めます。</li> <li>省エネ性能の高い製品や技術の開発に努めます。</li> <li>クールシェアの実施とクールシェアスポットの提供を行います。</li> <li>CO<sub>2</sub> 排出係数の小さい電力会社との契約を検討します。</li> </ul> |
| 事業3 | <ul style="list-style-type: none"> <li>「モビリティ・マネジメント」の活動をはじめ、安全性、快適性、衛生面等、利用環境の整備や利便性の向上に取り組むことにより、市バスの利用促進を図ります。</li> <li>「グリーン経営」の推進により環境への負荷の低減を図りつつ効果的な事業運営に努めます。</li> <li>自転車の安全利用を促進します。</li> </ul>                                    |  |   |

施策の方向性② 気候変動への適応策

|     | 行政の取り組み   | 市民に期待する取り組み   | 事業者期待する取り組み   |
|-----|---|---|---|
| 事業1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>浸水被害軽減対策を推進します。</li> <li>公共施設等への雨水貯留施設の整備を推進します。</li> <li>雨水貯留タンクの助成を行い、雨水の有効利用の啓発に努めます。</li> <li>雨水浸透枳の設置を推進します。</li> <li>透水性舗装の整備を推進します。</li> <li>グリーンカーテンの啓発・普及を推進します。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>雨水貯留タンクの設置等雨水利用に努めます。</li> <li>側溝清掃等地域の清掃活動に積極的に参加します。</li> <li>ハザードマップを確認し、浸水時等における避難場所を確認しておきます。</li> <li>地域で開催される避難訓練に積極的に参加します。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>雨水貯留槽の設置、透水性舗装、雨水浸透枳、浸透トレンチ等の雨水流出抑制施設の整備を進めます。</li> <li>浸水時等を想定した事業継続計画（BCP）の策定を進めます。</li> <li>地域で開催される避難訓練に積極的に参加します。</li> <li>災害時における避難場所の提供を検討します。</li> </ul> |
| 事業2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>熱中症予防に向けた啓発を行います。</li> <li>公共施設利用によるクールスポットの活用を進め、クールシェアについての情報提供を行います。</li> <li>デング熱やジカ熱等の動物由来感染症リスクについての情報提供を行い、感染予防に関する周知・啓発に努めます。</li> </ul>                                     |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>熱中症予防運動指数・暑さ指数（WBGT）の掲示や職員への声掛けにより、熱中症予防の周知・啓発を図ります。</li> </ul>  |
| 事業3 | <ul style="list-style-type: none"> <li>防災拠点や災害時に機能を保持すべき公共施設等について、エネルギー確保の方法を検討します。</li> </ul>  |   |   |